

提 言



陸前高田市は平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で津波により甚大な被害を受け、市役所庁舎を含む市街地の中心部が壊滅しました。

平成29年1月1日現在の人口は1万9871人、世帯数7600世帯、国民健康保険被保険者数は5271人で加入動向は減少傾向にあります。1人当たり保険給付費は増加傾向にあり、国保財政は厳しい状況です。

震災からの復興状況は、防災集団移転事業として住宅団地30団地512戸のうち、土地区画整理事業区域内を除く28団地358戸の造成工事が完了しました。また、住宅を失った被災者の居住の安定に向け災害復

陸前高田市は平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で津波により甚大な被害を受け、市役所庁舎を含む市街地の中心部が壊滅しました。

平成29年1月1日現在の人口は1万9871人、世帯数7600世帯、国民健康保険被保険者数は5271人で加入動向は減少傾向にあります。1人当たり保険給付費は増加傾向にあり、国保財政は厳しい状況です。

震災からの復興状況は、防災集団移転事業として住宅団地30団地512戸のうち、土地区画整理事業区域内を除く28団地358戸の造成工事が完了しました。また、住宅を失った被災者の居住の安定に向け災害復

の健康維持とつながりづくりをいち早く再開し、現在も市内各地域で活動しています。

本市の特徴的な取り組み

は、震災直後から復興に向けた中長期的な展望を議論し、地域全体にとって望ましい体制づくりを目的とする陸前高田市保健医療福祉

東日本大震災からの復興は

「健康づくりは地域づくり」

データヘルス計画策定を切り口に

岩手県陸前高田市民生部
保健課課長補佐兼保健係長

尾形良一

運動に発展しました。当地方の言葉で「はまってけら

期だからこそ健康に目を向けてもらうため、健康増進計画、データヘルス計画、母子保健計画、食育推進基

も立ち戻って計画を読み返すことで、日々の業務の中でみんなが考え、次の計画に向けた見直しの要素を見つけられるようにしました。

健康課題の解決はハイリ

スクアアプローチ、早期発見

計画策定は「目標や方向性を共有するための手段」

早期対応の視点になりがち

ですが、未来図会議ではポ

で、陸前高田市健康づくり

未来図会議を開催し「今は

ピュレーションアプローチ

本人の意思に基づいて安心

こうだけど「将来はこう

やソーシャルキャピタルの

う、地域生活に関わるあらゆる人が手を携え、その人

話すること心が癒やされる

つ着実に地域に広がっています。

陸前高田では被災者が復興に向けて歩み始めた時

「はまっ

陸前高田では被災者が復興に向けて歩み始めた時

計画を自指しました。何度